

JIS

木箱の構造

JIS Z 1402 : 2020

(Jpa/JSA)

令和 2 年 10 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
(委員)	秋 山 進	株式会社デンソー（公益社団法人自動車技術会）
	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌 田 実	東京大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木 村 たま代	主婦連合会
	佐 伯 誠 治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈 良 広 一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西 江 勇 二	一般財団法人研友社
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	和 迺 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 26.10.31 改正：令和 2.10.20

官 報 掲 載 日：令和 2.10.20

原 案 作 成 者：日本梱包工業組合連合会

(〒143-0016 東京都大田区大森北 1-1-6 イソーラ大森ビル TEL 03-3298-7876)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会（部会長 酒井 信介）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び設計要素	1
4.1 種類	1
4.2 設計区分	2
5 構造及び寸法	7
5.1 一般条件	7
5.2 普通木箱（Ⅰ形）の構造及び寸法	8
5.3 腰下付木箱（Ⅱ形）の構造及び寸法	13
6 材料	31
6.1 木材	31
6.2 合板	32
6.3 金属材料	32
6.4 防水材料	33
7 組立方法	33
7.1 木箱（Ⅰ形）の組立方法	33
7.2 腰下付木箱（Ⅱ形）の組立方法	33
7.3 くぎ付け及びボルト締め方法	35
附属書 A（規定） 負荷床材の許容曲げ荷重	45
附属書 B（規定） 木材の試験強さ及び許容強さ	48
附属書 C（規定） 腰下形式及び組立方法の特例	53
附属書 D（参考） I・B 形の外板の厚さ及び支持されない間隔の求め方	54
解 説	56

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本梱包工業組合連合会（Jpa）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS Z 1402:2014** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

木箱の構造

Construction of wooden boxes for packing

1 適用範囲

この規格は、内容品質量 1 500 kg 以下、外のり寸法が長さ 6.0 m 以下、幅 1.5 m 以下及び高さ 2.25 m 以下の輸送包装に用いる木箱（以下、木箱という。）の構造について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS A 5508 くぎ
- JIS B 1180 六角ボルト
- JIS B 1181 六角ナット
- JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯
- JIS Z 0107 木箱用語
- JIS Z 0108 包装一用語
- JIS Z 1514 ポリエチレン加工紙
- 合板の日本農林規格
- 単板積層材の日本農林規格

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS Z 0107 及び JIS Z 0108 による。

4 種類及び設計要素

4.1 種類

木箱の種類は、内容品質量、構造及び外板の用い方によって、表 1 のとおり分類する。構造の例を、図 1 及び図 2 に示す。また、普通木箱のつま及びつま棧の構造を、図 4～図 8 に示す。